

電気工事上のご注意点

- 配線工事については下記の表を参考に電気工事店と打ち合わせをしてください。
- 電力の使用量が最大負荷時でも供給電圧が必ず電気窯の規定電圧になるように電気工事を依頼してください。
- 電気窯は長時間の負荷がかかりますので、各電力会社の安全基準が下記表より低い設定になっていても当社の設置電気資料を参考にしてください。
- 漏電ブレーカーを取付けるときには、定格感度電流値が100mA以上のものを配線してください。
- 電源200V以上の電力を使用する場合は、経済産業省より3種アースを取付けるように義務づけられていますので、電気工事店で必ずアースを取付けてもらってください。ただし、アースは水道管などに接続しないでください。

電気工事業者の方へ

- 1 エクセルキルンはヒータ機能の窯です。(モータ機能ではありません。突入電流は流れず、窯作動中は常に定格電流での運転となります。従ってケーブルの太さには十分余裕を持たせてください)
- 2 窯のコントロールボックス右から1.5mのケーブルがでています。窯から出ているケーブルにはコンセント用プラグがついていますが、原則として直結になりますのでプラグは切り取って電源に直結してください。
なお、コンセント／プラグでご使用になる場合は電気工事の方が必要な電気容量のプラグと受けを準備してください。付属のプラグはアメリカ仕様ですので使えません。
- 3 窯のコンピュータボックス内部はさわらないでください。故障の原因になります。

モデル		電源電圧	アンペア数	ワット数	ワイヤサイズ	ブレーカーサイズ
EX324SF 単相	スタンダード	200V	27.8A	5550W	8sq.mm	40A
	パワーアップ	〃	33.0A	6660W	8sq.mm	40A
EX344SF 単相	スタンダード	〃	39.3A	7858W	14sq.mm	50A
	パワーアップ	〃	45.0A	9000W	14sq.mm	50A
EX365SF 単相		〃	49.9A	9980W	14sq.mm	60A
〃 三相	スタンダード	〃	31.8A	11000W	14sq.mm	40A
	パワーアップ	〃	34.0A	11000W	14sq.mm	40A
EX1266SF 単相		〃	49.9A	9980W	22sq.mm	60A
EX1099SF 単相		〃	71.5A	14300W	38sq.mm	75A
〃 三相		〃	41.3A	14300W	22sq.mm	60A
EX2099SF 単相		〃	83.2A	16640W	38sq.mm	100A
〃 三相		〃	49.9A	17300W	22sq.mm	60A

エクセルキルン設置場所の例

下の図は仮に1.5m×1.5mのスペースにEX324を置いた場合です(EX365ではだいたい点線位の大きさ)。ドアをあけただけで、文字盤が見えると焼成中に温度のチェックなどするのに便利です。この場合は下部を入り口と仮定しています。

又、窯の右手に分電盤（ON/OFFスイッチ）をつけるとケーブルが窯にさわる心配がありません。粘土や釉薬からのガスを換気する必要があるため換気が必要です。可能であれば換気扇の対角に窓があると良いでしょう。またはドアを少しあけて換気扇をまわしても効果があります。

